



固定資産税 土地評価セミナー

- 評価モデルを多数の実例に基づき解説 -

■ 第1部 講師

明海大学不動産学部教授

中城 康彦 氏

ケンブリッジ大学
土地経済学部客員
研究員(04~05年)
一級建築士
不動産鑑定士
博士(工学)



著書に、『農地 MEMO』(共著、新日本法規、2010年)、『CRE 戦略 企業不動産を活かす経営』(共著、日本経済新聞出版社、2009年)、『不動産コンサルティング実務必携』(共著、日本不動産カウンセラー協会、2009年)など

現在、(社)日本建築学会 固定資産評価小委員会幹事、資産評価政策学会理事、(財)資産評価システム研究センター 家屋に関する調査研究委員、横浜市・千葉市 住宅政策審議会委員、浦安市 建築紛争調停委員 など

■ 第2部 講師

日本ヴァリュアーズ株式会社

鈴木 哲

名古屋本社
取締役
不動産鑑定士
システム評価部
GISソフトウェア開発



1993年から固定資産土地評価業務開始

1. 固定資産土地評価コンサルテーション
名古屋市、岡崎市、豊田市、津市、瀬戸市等多数
2. 開発したソフトウェア導入実績
名古屋市、岡崎市、豊田市、津市、瀬戸市等多数
3. 固定資産評価を行う鑑定士の支援業務
福島県、栃木県、福井県、広島県、沖縄県にて実施

現在、路線価付設、土地評価要綱の作成、農地林地評価、画地計測システム等固定資産評価全般に従事

お問い合わせ

日本ヴァリュアーズ株式会社

担当 角谷英之、祖父江明浩

TEL 052-243-0215

■ 第1部 土地システム(大量)評価の考え方・留意点

明海大学教授、不動産鑑定士、一級建築士である講師が、土地大量評価のメリット・デメリットを、具体的事象まで掘り下げて分かりやすく解説。海外における固定資産評価の考え方等も折り込み、これからの資産税のあり方までを示唆します。

【講座内容】

1. 大量評価のメリット・デメリット
2. 具体事例からの視点(道路、容積率、都市計画道路の含まれる土地等)
3. クレームと分析
4. 海外との比較
5. 今後の資産税のあり方

■ 第2部 こうすれば良くなる固定資産評価

名古屋市、津市、岡崎市等、多くの実績を有する固定資産評価専門のベテラン不動産鑑定士が実務レベルで明快解説します。

【講座内容】

1. 用途地区区分 … 鑑定評価との整合を考えよう
2. 状況類似区分の要点 … 切りどころ、まとめどころにはコツがある
3. 標準宅地選定 … 選定の優先順位を考えよう
4. 価格形成要因 … 本当に重要な要因を採用しよう
5. 鑑定評価の依頼の仕方 … 不動産鑑定と固定資産評価の常識はこんなに違う

会場 JR 静岡駅ビル「パルシェ」7階 第三会議室

日時 2011年7月29日(金) 14:00~17:00 受講料 無料

※ 下記事項をご記入の上、お申し込みください。折り返し「受付確認書」をお送り致します。

受講申込書				2011年	月	日
フリガナ 代表者名		参加 人数	名	TEL		
所属名				FAX		
ご住所				E-mail		

お申し込み送信 FAX. 052-243-0216